

豊かな狛江をつくる市民の会通信

豊かな狛江

豊かな狛江をつくる市民の会

狛江市東和泉1-1-18いづみ荘103号室
新日本婦人の会狛江支部気付
連絡先：080-5084-1821（前土肥）
郵便振替口座番号 00140-3-727253

第260号（2022年3月号） / 2022年3月1日発行

市民のための公民館・図書館を！ 市民センター増改築を市民協働で！

<署名>

「ちょっと待って図書館移転連絡会」の署名は現在、3,447筆になっています。連絡会では、宣伝チラシを市内4紙（朝日、読売、毎日、東京）に新聞折込しました（2月22日）。また連絡会ニュース第4号を発行、連絡会参加団体の機関紙に折り込みました。引き続き、コロナの感染に配慮しながら駅前・市役所前宣伝等街頭宣伝、などを計画する予定です。なお、署名用紙はこれまでと同じ内容です。すでにお済みの方は、周りに広げてください。

<ワークショップの動き>

市民センター改修の第4回ワークショップは、コロナ感染の拡大により2月27日も再度延期となり、現在3月27日に予定されています。

このような状況で予定のスケジュールだけをこなして、市民の声を聞いたというアライバイ作りのような進め方は認められません。

<自治体の図書館をめぐる動き>

「川崎の図書館ともの会」の方と連絡を取り合うようになり、図書館をめぐるいろいろな自治体の情報が入ってきました。

川崎市：駅前再開発事業組合の中心である東急がコロナのため事業を見直さなければならなくなって2年ほど遅れています。それが動くまで時間があるかと思っておりましたが、川崎市全体の市民館・図書館に民営化を推進する考え方をまとめた中間取りまとめが、1月27日、市議会文教委員会に出されました。その元になる「今後の市民館・図書館のあ

り方」（2020年3月策定）に、民間活力の活用を謳っていましたが、それを一歩進めるものです。

広島市：広島市こども図書館が、市民に十分な説明もなく、広島駅前の商業施設に移転することになり、こども図書館のボランティアの方たちが「こども図書館移転問題を考える市民の会」を作り反対署名を行っています。

広島市こども図書館は、原爆ドームのある公園の一角にあり、場所は子どもたちがあそぶにはとてもよいところだそうです。また、この図書館は、戦後アメリカの広島県人会から寄付を受けてつくられ、当時の貴重な資料も持つ歴史のある図書館だそうです。

町田市：鶴川図書館は駅前図書館と近いし、建物も古くなった、近年利用も減っているという理由で、2022年に駅前図書館に「集約」し「本がある交流の場」（代替施設）という形で廃止されようとしています。

利用が減った理由の1つは鶴川図書館は、駅前図書館が2012年に開館する前は、鶴川地域全体にただ一つの図書館で、毎日とても混みあっていました。その解消のために駅前図書館を作ったのだから利用が減るのは当然。もう1つは、鶴川図書館だけでなく町田市内のほとんどの図書館は貸出冊数が減っています。その最大の原因は2010年度をピークに資料購入費が大幅に削減され、新しい本がない、人気の本の複本が少ないため予約しても何ヶ月も待たされるなど、図書館の魅力が薄れているからです。市立図書館としての存続のための運動が行われています。

福生市：東京福生市の市立中央図書館は大規模改修で2022年4月から2023年12月まで休館します。市はそれに伴い、同図書館に勤務する非正規雇用の会計年度任用職員14人の再雇用を行わないとしており、問題になっています。

狛江の駄倉新図書館計画では2年半近く休館になります。このような問題が起こらないためにも見直しが必要です。

効率化を図るための統廃合や、人件費削減を目的とした民間への管理委託など、多くの自治体でその運営の見直しが行われつつあります。それでも、地域に図書館がなくなる事態は避けるべきだと、専門家は言います。「必要な知識とか情報とか、読書の機会とかを保証する。地域で残すべき資料をきっちり残す。何か調べたいと思った時に、図書館が頼れると思えるかどうか…」「図書館の利用者が多い地域は文化的にレベルも高くなり良い街になる。」

「ちょっと待つて図書館移転連絡会」からお願い

- * 連絡会ニュースにみなさんの投稿をお願いします。700字程度。
mshuto2612@gmail.com または Fax:03-3480-8711(周東)まで
- * チラシの印刷と新聞折込み代のカンパを募っています。
詳しくは連絡会ニュース第4号をご覧ください。



市議会を傍聴しましょう

第1回定例会(予算議会) 2月24日(木)から3月30日(水)まで

新年度の予算が提案され、「豊かな会」が推薦した5議員が市長の政治姿勢、「市民センター等改修」問題、新型コロナウイルス対策等について質疑しますので、傍聴を呼びかけます。本会議・一般質問はインターネットでライブ中継もされるので、自宅での傍聴も可能です。

日時	開会	開催場所	内容
2月24日(木)	午前 9時	議場	本会議(初日)
3月3日(木)			一般質問 1番目から日本共産党・西村あつこ、鈴木えつお、岡村しん、宮坂良子各議員の順です。
3月4日(金)			一般質問 7番目に平井里美議員です。
3月7日(月)			一般質問
3月9日(水)			総務文教常任委員会
3月10日(木)			社会常任委員会
3月11日(金)			建設環境常任委員会
3月16日(水)			予算特別委員会
3月17日(木)			予算特別委員会
3月22日(火)			予算特別委員会
3月30日(水)			本会議(最終日)

6月26日に市長選挙と市議補欠選挙

狛江市選挙管理委員会は2月17日、任期満了に伴う市長選挙を6月19日(日)告示、26日(日)投票と決めました。一人欠員している市議会議員の補欠選挙も同じ日程です。

豊かな狛江をつくる市民の会では2月21日(月)に市長選懇談会を行いました。詳しくは4月号で紹介します。

豊かな会が掲げる“市民本位の狛江市政”の基本方向

2022.1.24

今年7月の市長選挙に向けて、2021年末から基本方向の見直しを始めましたので、ご意見をお寄せ下さい。追加・変更は斜体にしました。

- ① 憲法を守り、くらしに活かす市政。
- ② 気候危機の緊急性を踏まえ、「ゼロカーボンシティ」宣言(2050年ゼロ)を実効あるものとするために2030年CO2排出削減目標を60%以上とする等定め、省エネルギー推進・再生エネルギー活用などによって危機打開に取り組む市政。
- ③ 平和こそ市民生活の基礎であることをふまえ、反戦・平和の“わがまち”—狛江を、そして世界平和、核兵器の廃絶の実現に努める市政。
- ④ 市民と共に悩み、考え、行動する市政。
- ⑤ 特定の階層やグループ、あるいは一党一派にかたよらず、市民の生活と生産と労働を擁護し、市民全体の福祉向上を追求する市政。
- ⑥ “まち”の主人公が市民であることをふまえ、あらゆる市政領域で“市民参加”を大胆に広げる。中央集権に反対し、地方自治を守り育て、住民自治に基礎づけられた市政。
- ⑦ 利権や特権を排除し、ガラス張りで隠しごとのない、市民全体の理解と合意を前提とした、そして計画的な展開を進める市政。
- ⑧ 市役所職員にパワハラ・セクハラがなく、働きやすく、市民に奉仕する専門家としての主体性と誇りをもって、市民と手を携えて効率的に行政執行にあたる市政。
- ⑨ 開発優先から市民生活優先への転換、自然と共存する“まちづくり”を、市民の合意と納得、市民参加によって進める市政。
- ⑩ 子ども達の一人ひとりが大切にされ、共に育ち合っていく学校、保育園、地域をつくりだしていく。おとしよりや「ハンディ」をもった市民が安心してらせる、市民福祉第一、文化芸術や社会教育の発展で暮らしを豊かにする、共に生きる“まちづくり”を推進する市政。
- ⑪ 人間性を奪い去るあらゆる差別・ハラスメントに反対し、ジェンダー平等の実現、社会矛盾の下で弱い立場に追いやられている市民にとって「頼りになる」市政。
- ⑫ 大震災・原発事故を受けて、実践的防災・減災対策を確立し、原発に頼らない地域社会をめざす市政。
- ⑬ 市民合意のない「市民センター等改修基本方針」を一旦保留し、使いやすい市民センター(公民館・図書館)の増改築を、市民参加・市民協働で進める市政。

参院選に向けた野党共闘を目指す「トークライブ」開催

昨年の衆院選で改憲へ議席数を手にした自・公・維3党と岸田政権は、国民のいのちとくらしを軽視して「経済安保」「大軍拡」「憲法改悪」の具体化への動きを露わにしています。今年行われる参議院選挙で再び与党に多数の議席を持たせるわけにはいきません。今年こそ野党共闘の深化・発展を果たさなければなりません。

このような思いから私たちは、参院選に向けて「市民連合“ちょこみな”@東京22区」としての決起を形成すべく、第11回「トークライブ」を下記のように開催します。

記

日時：2022年4月7日（木）18：30～21：00

会場：調布グリーン小ホール

名称：市民連合“ちょこみな”@東京22区「第11回トークライブ」

内容：

- <第1部> 総選挙の結果を踏まえた「市民と野党の共闘」のこれから
共闘の候補者として奮闘して 山花郁夫さん（10分）
市民連合としての総選挙の総括と課題 高田健さん（30分）
- <第2部> 参院選での野党勝利で自民党政治に代わる新しい政治・社会を
総選挙で共闘した4野党の参院選予定候補の決意表明（1人15分）

質疑応答

以上

「市民連合“ちょこみな”@東京22区」連絡会

「憲法改悪を許さない全国署名」に取り組もう

自民党は改憲4項目として(1)憲法9条への自衛隊明記、(2)緊急事態条項の創設、(3)参院選の合区解消、(4)教育の充実をあげています。

今、岸田首相は「敵基地攻撃能力を持つこと」の検討まで言い出しています。

(1)が行われれば、自衛隊は世界のどこにでも出かけて行って無制限の武力行使が可能になります。憲法9条があるからこそ平和外交の担い手になれるではありませんか。(2)の緊急事態条項とは「緊急」を口実に権力を内閣に集中し独裁制を実現するもので、現代の「戒厳令」です。コロナ危機を理由に緊急事態条項の創設を主張しますが、憲法を無視して国会を開かず、無策でコロナ

失政を続けてきた自民党政権にこそ問題があります。そんな政権に権力を集中してよいのでしょうか。

(3)、(4)は憲法をきちんと守れば実現できる項目です。改憲の狙いを隠すものでしかありません。

コロナ感染拡大で動きにくい中ですが、知人に署名用紙を郵送するなど、工夫して署名に取り組ましましょう。



3月の市民運動などの予定

※今月、市民運動団体などが予定している各種会議やイベントなど、日程を掲載するコーナーです。編集部が把握する情報には漏れがあると思いますので、ぜひあなたの情報をお寄せください。

※本紙に折り込んでほしいピラなどがありましたら、320部用意してください。会報製本・仕分け作業日前日が締め切りとなります。折り込み希望の方は、可能な限り、会報の製本・仕分け作業をお手伝いください。

日 時	会場など	内 容	問い合わせ先など
3日(木) 14時～15時	狛江駅前北口 広場	Silent Standing	「平和憲法を広める狛江連絡会」
9日(水) 15時～16時	狛江駅前	「九の日行動」 「憲法改悪に反対する全国署名」(新署名) 駅前署名・宣伝行動	戦争なんてイヤだ！狛江市民実行委員会 雨天の場合は19日(土)同時刻に延期します。
11日(金) 10時30分 ～11時30分	みんなの広場	『豊かな狛江』4月号編集会議	アイデアをお寄せください。
11日(金) 15時～16時	狛江駅前	フラワーデモ 性暴力に抗議するスタンディング	新婦人狛江支部の会員の呼びかけで行っています。お花を持って参加を！
17日(木) 13時30分 ～15時30分	中央公民館・ 第2会議室	《平和憲法を広める狛江連絡会》《こまえ九条の会》合同世話人会	新しい方の参加大歓迎です。
23日(水) 15時00分 ～16時00分	狛江駅前	《消費税をなくす狛江の会》の署名行動	民主商工会や東京土建・狛江支部などが中心に第4水曜日の行動です。
24日(木) 14時～15時	東京土建狛江 支部会館会議 室	こまえ社保協 事務局・役員会議	各加盟団体の皆さんは、ご出席ください。
28日(月) 14時～16時頃	みんなの広場	拡大世話人会	世話人以外の方の参加歓迎です。
29日(火) 9時30分 ～11時頃	みんなの広場	豊かな会会報『豊かな狛江』4月号の製本・仕分け作業	ぜひ！手伝いにきてください。

※コロナ感染状況によっては中止になる場合もあります。

膨れ上がる世界の多角的危機と悪しき物価上昇

永山 利和 (元日本大学教授)

北京オリンピック開催前、小稿で2022年は日本にとって“習リスク”を考慮しなければならないと記した。それは北京オリンピック開催の可否ではない。米中関係の対立の深まりとその基礎に中国の“国内問題”であるチベット、内モンゴル、ウイグル自治区等に深刻な言語、宗教、教育、文化関連活動や国際基準の人権制約行為が国際的障害となる取扱うのに厄介な課題を含んでいる。香港の人権抑圧が“習リスク”の一環とみる小稿の立場と中国が主張する「台湾解放」という戦闘行為にも及ぶ可能性の強いリスクが迫る。

国際紛争、戦争に連鎖する“習リスク”は、中国の“国内問題”から北朝鮮、ミャンマー、中近東・アフリカ諸国などの人権抑圧政権への支援、国連決議等を無効にする行為など、覇権国家へ中国が移行するにつれ、緊張が急膨張しつつある。加えてウクライナへの進攻を準備するプーチン政権下の“ロシア危機”を鎮静しなければならない。今回のウクライナ問題は、クリミア戦争を想起させ、複雑にもつれた関係が現代史大転換を実行すべきSDGs構図で見れば、世界のエネルギー需給を混乱に陥れてきていることは明瞭である。

ウクライナ問題(EU諸国への天然ガスパイプラインを提供)に絡む世界のエネルギー需給に関して、アメリカ、ロシア、中近東・アフリカのエネルギー産業活動に従う多国籍企業も絡み、各国の政策変更の利害調整が係わって混乱し、国際エネルギー政策の共同行動を妨げる“混乱の渦”がある。

“混乱の渦”は2種ある。一種の渦はCO₂削減に向かう流れを基調としていた世界エネルギー政策における“混乱の渦”である。“混乱の渦”は、

SDGsの健全な流れを引き戻す逆流を一気に進めることにある。混乱は、たとえば大統領選挙を前にしたフランスの動きである。フランスは原子力発電を再拡大しようとしている。日本も巻き込んだアメリカからの対ロシア天然ガス供給に協力を果たすというドイツのエネルギー政策は、ロシアからバルト海域経由のノルド・ストリーム建設でドイツに脱原発、CO₂削減策を脱ロシア路線では実行できないジレンマを持つ。

日本はウイズ・アトムで“原子力村”が息を吹き返し、ついでに小型原発開発に傾斜し、加えて石炭火力とアンモニアや水素との混焼で奪炭素政策を押し戻すベクトルを強めている。アメリカはエネルギー自給体制を取戻し、高みの見物を決め込み、エネルギー価格高騰のお陰で、国際エネルギー資本が暴利を維持・拡大する機会をうかがう。

もう一種の“混乱の渦”は、台湾海峡・ウクライナ危機という地政学的危機とエネルギー危機との複合が生み出す世界的インフレーションが生む危機である。とりわけ一般庶民、防御可能な資産保有なき人々の生活危機が生じる。

2年余に及ぶCOVID-19による混乱が絡んで、通常の生産・流通・保管・在庫、商流など、様々な結節点に生じた混乱が、錯綜、相乗し、デジタル化などで合理化され、スリム化された生産及び流通を総合した供給システムが、十分に再調整されないうちに脱コロナを急ぐあまり不必要な需要増、需要増に見合わない供給不足などの不均衡が、これまであまり経験しない物価上昇圧力を強めた。

容易に収束しない市場調整力の過不足が、

様々な結節点にボトル・ネックを生み、これに緩み切った過剰通貨を抱えた金融市場の下で急速な物価上昇を生んでいる。

アメリカ、EU 諸国では金融緩和の出口政策の実施時期のタイミングに移行し、日銀も漸く資産買入れ基調に変更を始めた。上記の 2 種の“混乱の渦”から湧き上がるインフレーションは、企業間取引ではすでに昨年下半年から顕在化しており、消費者物価にいつ波及してもおかしくない状況にある。

インフレーションは、失業と並ぶ資本主義経済

体制のもっとも根深い解決困難で、不当な富の再配分機能を有する事象である。小規模な有産階級でさえ、目の前に進む貧困化を止める力を喪失させられる。原始資本主義が見せてくれた新規の労働者階級とその OB 階層からも富を奪うことで、国家、企業の負債は一気に軽減される。インフレーションは支配層には便利で、罪を問われない富の再配分の仕組である。インフレーションに正面から対抗するには失業根絶とともに、政権転換ではなく体制転換が問われる事象である。

投稿

水と平和



柳 正男 (東野川在住)

真冬の早朝、暗がりの中薄着で私はよく散歩します。野川沿いの土の上、草の上を歩きます。冷たい水の中、大きな灰色のサギがじっと動かずに立っていることがよくあります。

インドでは雨が降る日は「天気がよいですね」と言うらしい。アフガニスタンでは金がなくても水があれば生きていけるといいます。トンガ近くの海底火山の大噴火、緊急を要したのは水でした。刺身、すしの食文化は生水が飲めて初めて成立します。一日水を飲まない人間は死んでしまうそうです。

水はそれほど大切なものです。水はいつでもあるんだ、水はいつでもあるから大切なものとは思っていない。私が70歳過ぎまで病気知らずでこれたのも水分の取り方に注意してきたからと感じています。

戦後75年間、日本は戦争を知らずにきました。こられた最大の要因は「日本国憲法」があったか

らです。永久平和日本国憲法です。第九条を考えたのは戦後二番目の総理大臣、保守党の幣原(しではら)喜重郎さんと思われます。幣原氏は「私は今は夢想家として笑われようが、百年後にはきっと予言者になる」と言われた、香り高い幣原憲法(石橋湛山評論集より)。

湾岸戦争のとき、ブッシュ大統領(父)から「日本の自衛隊を出撃させろ」と再三言われたが、この憲法のおかげで戦争参加を拒めた。但し、お金を2兆円も供出したといわれている。

いま人々は日本国憲法をどう見ているのだろうか。平和は当たり前と意識しているのか。私は戦争の足音がひたひたと近づいてきている、そんな気がしてならない。幣原さんが生きていたら何と思うか。

私は「日本国憲法」を尊重し、守り、実践している党を応援しています。もちろんお金もきれいなこと。

気候危機が進み洪水や旱魃(かんばつ)が起き、水不足になり食料(米など)も不足してくるとも限らない。秘密保護法、安保法など戦争法案が拡大していくと戦争(人と人の殺し合い)が起きないとも限らない。「ころばぬ先の杖」、我々は杖になって多くの市民に世の中のからくりを、真実を伝えていかななくてはいけない。政治と生活は密接に結びついていることも。

そして大事なことは選挙に行ってもらおうこと。横浜市長選挙で自民党の敗北、それによって菅総理が辞任した。すべては選挙です。間違いなく選挙で世の中は変わる。

「水と平和」は人間に欠かせない財産なのに、軽く感じられている。

我々のやっていることは、まっとうなことだ。それこそ1mmもぶれることはない。

今こそ、小さな勇気をもって立ち上がろう。

粕江の自然



オオシマザクラ

野川の粕江側の川辺に巨木が立っている。
伊豆七島、伊豆半島を原産とする白花系のサクラ。丈夫な性質を持ち、他のサクラ類の台木にも使われる。ソメイヨシノの片親でもある。

高橋 廉(岩戸在住)